

桐生市立商業高等学校 学校評価一覧表② (令和2年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が85%以上である。	A	A	A	・登校すれば、仲間や教職員が温かく接してくれるので楽しいと感じられるよう、また安心して学習する環境を提供できるよう、ふれあいを通した学校のあるべき姿を全職員で確認、評価しながら現在の取り組みを継続する。	・定時制の生徒一人ひとりに寄り添い、生徒と教員間、生徒同士間に信頼関係が構築される指導を継続してもらいたい。	・今年度の達成状況を鑑み、更に高い数値目標を設定し、実現に向けて組織的に取り組む。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
		③総合的な探究の時間(ふれあいの時間)を主体的に取り組んだと自己評価している生徒の割合が85%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が90%以上である。	A	A	A	・生徒の学びたいという気持ちに寄り添い、個に応じた目標を設定し評価している。きめ細やかな学習指導の結果、生徒の100%が「分かりやすい授業」と回答している。 ・商業科に学ぶ生徒として、その専門知識の習得とそれをふまえた各種検定試験に合格する体験を積み、一人ひとりの生徒が自信をもって進級、卒業できるよう繰り返し指導する。	・定時制の生徒として資格取得等の具体的な目標に向かって努力することの大切さを引き続き指導してもらいたい。 ・昨今のICT機器や様々な道具を活用して、学びの機会を失わせないための工夫や学びの質の向上に努めてもらいたい。	・クラスの全体が一体感を持って学習する雰囲気を醸成させていく。 ・定期テストや検定試験の前に生徒が自分で学習できる教材等の環境を整える。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。	B	B	B			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥定期テストや検定試験のために学習をする生徒の割合が80%以上である。 ⑦成績不振科目のある生徒の割合が5%未満である。	C B	B A	B A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打ち合わせ等において、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	A	A	A	・全職員が出席する連絡調整会議を毎週行い、生徒の様子を共有することで、全職員が全生徒を指導できる体制を確立している。生徒一人ひとりを大切にし、その生徒にとって必要な声掛けを実施している。 ・いじめについては定期的にアンケートを実施して調査するとともに、生徒の小さな変化を見逃さないよう努めている。発見時はいじめ防止委員会を立ち上げ早期に解消させた。 ・生徒の健康については玄関前で、登校時の検温と体調を毎日確認している。欠席、遅刻を繰り返す生徒には、あきらめずに声を掛け続けている。	・生徒のために職員が一枚岩となって指導にあたることを頼もしく感じる。更なる組織力の向上に期待したい。 ・いじめの発生防止と学校内での事故防止に努めてもらいたい。 ・コロナ禍の生徒の健康観察や消毒作業など、今後も生徒の健康に配慮して頂きたい。	・全職員の力を結集して、いじめの未然防止と早期発見・解消に努める。 ・欠席率、遅刻率の数値目標の達成を目指す。現状として、遅刻、欠席が特定の生徒に偏る傾向がある。欠席、遅刻を習慣化させない具体的な取り組みを実践する。 ・引き続き生徒に関する情報交換を密にして緊急時の対応やトラブルに対応する体制を構築する。
		⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。	A	A	A			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っていますか。	⑩「学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。 ⑪いじめの解消率が100%である。	A A	A A	A A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬欠席率が10%以下、遅刻率が10%以下である。	B	B	B	・1年次からキャリア教育を推進している。今年度も外部講師を積極的に活用し、働くことの動機付けから、自己PRの重要性を理解し自らを分析し、考えさせる面接指導等を実施した。早い段階から進路選択を意識させ、その実現に向けた取り組みを続ける。	・定時制生徒一人ひとりに対して適切な進路指導等を発信し、進路希望を実現してもらいたい。	・今年度より取り組みを開始したキャリアパスポートの改善を図る。活動内容と成果を適切に評価し見直すことで、効果を高めていく。
		⑭「自己の生き方」と「将来の職業」とを関連させた進路指導を行っている、生徒の70%以上が評価している。	A	A	A			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。	B	B	B			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。	A	A	A	・1学期に全保護者を対象に保護者面談を実施した。その後も随時実施している。引き続き保護者との信頼関係づくりを推進したい。	・生徒の活躍等、最新の情報提供を充実させてほしい。	・生徒の活動及び活躍を積極的に発信する。
		⑯保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。	B	B	B			
		⑰Webページを毎月1回以上更新している。	B	B	B			
		⑱Webページを見たことがある保護者の割合が70%以上である。	C	B	B			